

# 育友会本部の委員会活動

育友会では各種委員会を設け活動をしています。それぞれの委員会の活動を報告します。

## スポーツ応援推進委員会

委員長 磯 和明  
(育友会副会長、商3父)



今年度のスポーツ応援では、以下の2つのことに取り組んでいます。

①より多くの学生に、少しでも励みになるような応援をしていく(種目・回数、応援人数を増やす)。

②育友会会員でお子さんの応援がしたい、色々なスポーツを見たいという方々と、一緒に応援ができる機会を作っていく。これを実現するため、インターネット上に参加申込ができる「スポーツ応援サイト」を試行的に立ち上げ、応援がより楽しめるような大会・クラブ・選手等の付加情報も掲載しています。

12月3日(日)時点では、延べ8種目・12試合・144名の育友会会員が専大生の応援をし、試合映像も提供しています。

◆箱根駅伝予選会 59名(駅伝後ランチ26名) ◆バレー17名 ◆相撲5名 ◆バスケット16名 ◆サッカー14名 ◆フェンシング4名 ◆ラグビー4名 ◆アメフト7名

特に箱根駅伝予選会では福島(中通り)支部・東京多摩支部・埼玉支部と、初めて本部・支部合同で気持ちを込めた力強い応援を楽しむことができました。また、専大生からは感謝の言葉もいただき、少しでも役立っていることが私たち応援メンバーの力にもなっています。今後も引き続き専大生を応援していきますので、ご興味のある方は「スポーツ応援サイト」(右のQRコード)より応援申込をしていただき、一緒に楽しく応援していければと思います。



## バスケットボール観戦記

10月29日(日)には体育会男子バスケットボール部の応援に行きました。参加者の感想をご紹介します。



### スピードと機敏な技に感動 !!

堀井廣継  
(父母幹事、文1父)



これまで観戦経験のなかったバスケットボール(青山学院戦)、秋季リーグ戦を応援して来ました。前後左右に機敏に動き、的確なボールさばきで駆け回る選手の姿にドキドキ、はらはら。スピード感溢れる、大接戦の熱い戦いを目のあたりにし大興奮でした。

専修大リードで優勢な展開もありましたが、ラスト1ゴール僅差での惜敗。それでも秋季リーグ戦総合2位と大健闘でした! 選手の真剣な熱い戦いぶりに、すっかり魅了され感動をもらいました。今後も専修大の活躍に期待し、応援し続けていきたいと感じました。

### 天高く! SOARERS!

高橋政喜  
(父母幹事、法1父)



自身アウトドア専門で本格的なバスケットの観戦は初めて。特に期待せず応援に参加。で、すぐに目から鱗。開始早々から10点差以上・これはヤバイと思ったが選手達は全然焦ってない・それどころか笑っている・明るい・スタンドも冗談混じりのヤジ・誰も変な悲壮感がない・そしてあっという間に逆転・シーソーゲーム・留学生のダンク! キャプテンの3点シュート! 鮮やかな速攻でコンビネーションが決まった時は鼻目抜きに凄い! 身震いさえ感じた。こういうチームが強くなる。後で知りました。このチームの愛称は「ソアラーズ」!センスもよし!

### 迫力あるプレー、応援にも熱

元木真寿美  
(父母幹事、経営4母)



関東大学バスケットリーグ戦の最終日、青山学院大学との試合でした。前日にすでに2位が確定していたので、どこか安心した思いでバスケット部保護者の方々と一緒に応援させていただきました。序盤から両校競った試合で、一喜一憂しながらの応援、選手達の俊敏な動きやボールさばき、ダンクシュートなど迫力あるプレーに応援にも熱が入りました。結果は、1点差という、惜しい敗戦になってしまいましたが、これからもバスケット部のさらなる飛躍を期待する試合でした。

# 鳳祭参加企画「お休み処・育友」委員会



委員長 島田順子  
(育友会副会長、経営3母)

鳳祭「お休み処・育友」の出店に際しましては、委員をはじめ沢山の父母幹事の方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度は天候に恵まれ、爽やかな秋晴れの下での開催に「晴れ女」と改めて感じた次第です。

毎年、生田校舎10号館の2階の10208教室を、どなたでもご利用できる無料の休憩所としてお飲み物とお菓子の提供をしています。育友会員、校友会の皆さま、学生、地域住民の方への周知も年々進んでおります。どうぞ、来年度以降も鳳祭にお越しの際は、「お休み処・育友」へお立ち寄りください。

育友会のPRと、学生サークルへの援助を目的に活動していますが、担当している自分達も、鳳祭を楽しんでおります。普段接する機会の少ない学生



↑9月29日(金)の委員会

サークルの方や他学年の方との交流、じゃんけん大会では、恥ずかしさもどこへやら、法被を着て校内を廻っております。出会えたらラッキーと思って、じゃんけんしてください。勝った方には鳳祭の模擬店で使用できるチケットを差し上げています。今年も、沢山の学生に出会えました(当日の様子は6頁)。

鳳祭に参加するご縁をいただき、楽しませていただき、ありがとうございました。



↑鳳祭のじゃんけん大会

# 会報『育友』編集委員会



委員長 宮下茂樹  
(育友会副会長、法3父)

本年度の編集委員会は常任役員と父母幹事の総勢10名の編集委員に、育友会事務局を加えた陣容で、年間4回発行の冊子『育友』に関して、全国のご父母に「今」の専修大学を、いかに判り易く興味深くお伝えできるか、知恵を絞っております。

編集委員会では、どんな内容にすれば保護者の方により専修大学をご理解いただけるか、学生たちが学んでいる環境や取り組みをお伝えして安心していただけるか、読んでいただく皆様と同じ親の目線で議論しております。

大学における様々なイベントや学生の活躍、先生方の紹介や数多くのサークルなど、本来は年4回の発行では伝え切れないのですが、できるだけ毎号の中に多くの情報を満載してお届けしてします。

各大学でも様々な冊子を発行しておりますが、育友会発行の『育友』は充実した内容や読み易さ、誌面の美しさにおいて、どこにも引けを取らない学内情報誌に仕上がっていると自負しています。

最後にはお願いですが、より良い冊子にレベルアップしていくために、お読みいただく皆様にも毎号のアンケート葉書にて、是非、忌憚のないご意見をお寄せいただき、読者として編集委員会にご協力いただけますと幸いです。



↑11月29日(水)の委員会



↑12月20日(水)、飯塚佳代プロジェクト(30頁)の取材に編集委員が同行(左の3人)